２学期が始まりました

　校長　大村　眞理子

８月２９日（月）、Ｋ中は夏休みを終えて２学期の始業式を行いました。西区では３学期制の学校はＫ中だけですので１年生にとっては初めての「２学期」が始まりました。始業式では、３年生の集合の様子が非常に立派で、体育館に入ってくる際も集合した後も私語がなく、服装をきちんと整えて座って１・２年生の集合を待っていました。最高学年の３年生が下級生の見本になることができるＫ中であることがとてもうれしく思えました。１・２年生もきちんとしており、夏休み明けにここまでできるのも夏休み中のご家庭や地域でのご指導のおかげだと思います。保護者や地域の皆様に感謝申し上げます。

Ｋ中は、地域と関わる行事が様々あり、個人として参加させていただく行事もあります。夏休み期間中は地域のお祭りや催しに多くの生徒が参加し、地域の子どもとして地域の皆様と一緒にやぐらの設営や屋台のお手伝い、スポーツ交流会など大人の方々と活動させていただきました。お祭りでは卒業生も参加しており、地域とのつながりを強く感じました。お世話になりました。

この夏は、テレビではリオデジャネイロオリンピックだけでなく、事件や自然災害など様々な分野の大きな報道が多かったように思います。さらに、戦後７１年目の特集も多く組まれていました。オリンピックという華やかな舞台の中でも難民選手団の話題も取り上げられ、世界の情勢に目を向けることもできました。この夏の報道で、平和や命の尊さを再認識するとともに人間の残酷さや崇高な使命感などいろいろと考えさせられました。そして、何より「教育」の子どもに与える影響の強さを考えざるを得ませんでした。今の世の中を生きる私たちは、多くの情報を収集し、知識を得ることやそれらを分析して判断していく力が必要になってきています。情報収集力や分析力、そして対話力などの社会で生きていく力は今でも必要な力です。

現在、Ｋ中ではコミュニケーション力の育成に力を入れており、授業だけでなく様々な機会に自分達で調べたものを話し合ったり発表したりする学習を取り入れています。２学期は宮谷小学校と本校ＰＴＡの共催行事である「ふれあい☆みやがやまつり」、Ｋ中祭文化祭部門と大きな行事があります。どの行事も人とのつながりが大切なものとなります。学習で培った力を行事の中で生かしていってほしいものです。保護者や地域の皆様には今学期も大変、お世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

**指定廃棄物について**

本校で以前、雨水利用をしていた際に堆積した汚泥が「放射性廃棄物」の指定を受け、横浜市放射線対策本部会での決定により、校内で保管しておりました。新聞報道でもありましたが、本年度内を目途に他へ移動することが同会議で決まりましたのでお知らせいたします。